

## メキシコでの家探し

渡邊航大

埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画を通じて、メキシコに留学させて頂いています、渡邊航大と申します。メキシコシティは、午前中また日没後はまだ肌寒いですが、日本ほどは冷え込まず快適に生活しています。

個人的な話になってしまいますが、先日引っ越しをしました。以前住んでいたところも非常に気に入っていたのですが、すこし家賃が高かったこと、家の近くにお店が少なかったことから少し不便に感じ、この度引っ越しを決意しました。今年に入ってから家を探し始めたのですが、メキシコで家を探すのは外国人の自分にとってかなり大変な作業で、今の物件を見つけるのにかなり時間がかかりました。メキシコでは、家の中の一部屋だけを賃貸する家庭が多くあり、大学生にとっては家賃を抑えられるため人気があります。メキシコでの家探し、また買い物全般も、日本のそれとは異なり、自分にとってはすごく新鮮なものでした。今日はその違いについて書きたいと思います。

まず物件情報の入手方法ですが、メキシコ人の友人から勧められたのはとにかく大学の周りを歩き回り、柱等に貼られている広告を探すことでした。日本ではあまり考えられないことですがメキシコ、特に大学の近くには手書きでたくさん広告が出ています。家賃や家具がついているか、シャワーやトイレは共有かなどの条件を見て、大家と連絡を取り部屋を見せてもらった上で契約するのが一般的な流れです。

インターネットにも幾つか物件情報を掲載しているサイトもありますが、あまり数は多くありません。部屋以外にも、古くなったベットを売りたいなどと言った広告も場所によっては出ていたりします。いずれにしてもメキシコでは、ネットオークションや第三者を間に挟まず、当事者間で取引をするのが一般的なようです。

今回、メキシコ人の友人が空き部屋を紹介してくれたり、部屋の見学や契約に付き添ってくれたりと本当にお世話になりました。すこし悲しいことではありますが、メキシコでは外国人に対して通常より高い値段を提示することがよくあります。もちろんすべてのメキシコ人がするわけではありませんが、特にテオティワカン遺跡等の観光地や市場などでは、値札がついていないためこのような事がよく起こります。実際に自分が行っ

た時は、ネックレス一つ400ペソと言われたのですが、メキシコ人の友達に値段を聞いてもらったところ、10ペソで売られていた商品でした。ぜひ観光に訪れる際にはお気をつけください。

通常より高い値段を提示されるのは正直気持ちのよいことではないですが、値段交渉をするのも買い物の楽しみと思い生活しています。日本とは違い、二つ買うから安くしてよなどと交渉を持ちかけると実際に安くなったりもします。特に小さいお店では、日本人が珍しいこともあり何回か通うとすぐに名前を覚えてもらえます。外国人として生活するのは大変な面もありますが、お店に行くたびに店員さんが名前を呼んでくれたり、日本のことについて興味津々に質問してきたりと、外国人として生活する上でのメリットも感じています。

値引き交渉や店員さんとの会話が楽しめるのも、メキシコ国立自治大学という素晴らしい環境で勉強させていただいているからだと思います。最近、お店に買い物に行ったついでにする店員さんとの会話など、ささいなことがスペイン語を通して理解できたときに自分の勉強の成果を感じ、よいモチベーションになっています。

観光に訪れる際には、簡単なスペイン語を勉強してくるとよりこの国の魅力が味わえるのではないのでしょうか。ぜひ現地のメキシコ人との交流を楽しんでいただきたいと思います。